



地域医療連携・
産業保健連携の
ための情報誌

みんみん
2018
秋号

地域の精神科病院として
救急医療ニーズにお応えします。

救急病棟を備えた 精神科病院

油山病院は昨年「応急入院指定病院」に指定され、本年6月からは24時間365日、緊急性の高い精神疾患の方を受け入れる「精神科救急病棟」の運営を開始しました。

この精神科救急病棟においては、看護師などの医療スタッフが多く配置され、精神科医、臨床心理士、看護師、精神保健福祉士（精神科ソーシャルワーカー）、作業療法士などの医療チームが集中的にかかわり、症状の早期安定や短期間（原則3ヶ月以内）の入院治療による退院を目指しています。

専門性の高い治療

当院の救急病棟では、難治性の統合失調症・うつ病・躁うつ病の方を対象とする修正型電気けいれん療法（m・ECT）や、治療抵抗性の高い統合失調症の方が対象のクロザピン（クロザリル）

治療も行なっています。

頭部に通電することで精神症状の改善をはかる治療法を電気けいれん療法と呼び、治療における不安や身体的けいれんを防止するために全身麻酔薬下（全身麻酔と筋弛緩剤を使用したもの）で行なうものを、修正型電気けいれん療法（m・ECT）と言います。

m・ECTは安全性が高いものですが、当院ではより一層安全性に留意して、施行前に入念な検査を行い、常勤の麻酔科医による診察、施行中のモニタリングや施行後のカンファレンスなど、最大限の配慮を行なっています。

クロザピン（商品名：クロザリル）は、既存の薬物治療に抵抗性を示す統合失調症例に高い有用性を示す薬剤として、世界的に承認されています。クロザピン治療は決められた基準を満たした病院・医師でなければ処方できませんが、当院は医師・薬剤師・看護師が所定の研修を修了した登録医療機関として院内の連携



特集 油山病院は、24時間365日対応 精神科の救急病院です。

をはかるとともに、福岡大学病院腫瘍・血液内科との院外連携の体制も充分整えています。

なお、いずれの治療も保険が適用されます。

安全に配慮した 設備と運営システム

重篤な心身の状況にある患者さんについては、患者さんの安全と人権を尊重したPICU（精神科の保護室）にて24時間モニター対応していますが、さらに前述の専門性の高い治療を行なうためにも、これまでにない大型モニターをスタッフステーション内に設置し、その他の入院患者さんに対しても従来の精神科医療機関では使用されていなかったような先進的な身体管理を可能にしました。

また、救急病棟内には修正型電気けいれん療法（m・ECT）に

使用する施術室も完備しています。

当院の精神科救急の医療チームは、救急対応や専門性の高い治療にあたって、常に迅速な連絡・報告・相談を行ない、安全かつ適切な医療が提供できるように心がけています。



大型モニターを設置



修正型電気けいれん療法室



TOPICS

精神科・内科 油山病院

第4回 油山病院 地域医療連携の会を開催

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師（ユマニチュード®; インストラクター）杉本智波氏を迎えて
～脳神経的な見地から認知症患者さんの世界を理解する～

油山病院主催「地域医療連携の会」は、精神科病院と一般科の病院・診療所・介護事業所の医療および介護分野の連携強化を目的として2016年に発足し、毎年6月と12月の年2回、当院にて開催しています。

第4回目となる今回は、社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院の脳卒中リハビリテーション看護認定看護師・E-HCU/SCU HCU師長であり、同時にユマニチュード®;インストラクターの杉本智波氏を講師としてお招きして、6月28日に開催されました。

テーマは「認知症患者の世界をのぞいてみよう～日々のなぜ?を解決するヒント～」、ケアする私たち医療・介護従事者の目線ではなく、認知症の患者さんの住んでいる世界から私たちの対応を再考してみようという問題提起でした。

講演の中では、医療・介護従事者は認知症の患者さんの回復を支援する仕事をしているにもかかわらず、時として治療のためには仕方がないという理由で不本意な対応を行なうことについて検討しました。そのうえで、私たちの通常の対応がどのように患者さんに受け取られるかをわかりやすいジェスチャーやロールプレイングで実証いただきました。

さらに「ユマニチュード®」が知覚・感情・言語に基づいた包括的ケア技法として「快の感情」を伝える技術であること、「ケアするとは何か」「人とは何か」を常に問い続ける哲学であることを教えていただきました。

なお、今回の催しでは、会場である当院多目的ホールの収容人数の都合で200名限定の会となりましたことを、お詫び申し上げます。



介護老人保健施設 からぎステーション

認知症予防のための「よかよか講座」開催



6月12日、福岡市早良区の野芥校区老人クラブ連合会の皆様(参加は約60名)と共催で、地域の高齢者対象に認知症予防の「よかよか講座」を開催しました。

冒頭のミニ講演「筋力低下を防ぐ、よか食事」では、介護老人保健施設からぎステーションの管理栄養士が、バランスのよい食事をとり、特に良質のたんぱく質を摂取することの必要性を伝えました。次に脳トレ体操「笑いながら、脳を活性化させましょう」では、同施設の作業療法士(シナプソロジー・インストラクター)の指導により、左右異なる動きを同時にすることで脳を活性化させるプログラムを体験していただきました。思っていた以上に難しく、自身や他の方の思わぬ動作に会場から楽しい笑い声が上がりました。



精神科・内科
油山病院

〒814-0171福岡市早良区野芥5-6-37

TEL 092-871-2261

FAX 092-863-2641

油山病院

検索

医療法人湊江堂 広報誌 第32号

2018年9月発行

発行・編集/医療法人湊江堂

〒814-0171福岡市早良区野芥5丁目6番37号

TEL092-871-2261(代表)

FAX092-863-2641

minkodo-cc@aburayama-hospital.com

http://www.minkodo.com

企画・デザイン/有限会社ジェイズファクトリー

〒810-0074 福岡市中央区大手門1-9-8-2F

TEL 092-725-7261

FAX 092-725-7262

www.j-fac.com